

銀 杏 葉



教育目標 「自ら学ぶ、豊かな人間性としょうぶなからだをもった子ども」

須賀川市立西袋第二小学校

学校だより 第13号

令和6年2月22日（金）発行

文責 校長 三浦 康夫

授業参観・懇談会・PTA各委員会ありがとうございます

本日は、今年度最期の授業参観ならびに学級懇談会、PTA各委員会にご出席いただき、ありがとうございます。子どもたちは、1年間の学びを振り返りながら、成長した姿をお家の方に見ていただこうと張り切って今日の授業に向けて準備を進めてきました。子どもたちの頑張りや成長の様子をぜひご家庭でも褒めていただき、進級へ向かう意欲を更に高めていただければ幸いです。3学期の授業日も残すところ19日となりましたが、西二小児童39名が、自信を持って修了・卒業を迎えられますよう、引き続きご協力をよろしくお願いいたします

【日 程】

- ・ 授業参観 13:00～13:45
- ・ PTA 全体会 14:00～14:30
- ・ 各専門委員会 14:40～14:55
- ・ 学級懇談会 15:00～15:30
- ・ PTA 実行委員会 15:35～

『令和5年度学校評価』について

今年度の教育目標および学校経営・運営の達成状況について、保護者の皆様からも昨年末にアンケートの回答をいただきました。ご協力、ありがとうございました。教職員、児童へのアンケートとあわせて結果を以下のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

今回の学校評価の結果をふまえ、さらに保護者の皆様や地域の皆様の理解を得て、学校・家庭・地域との連携・協働による学校づくりを進めていきたいと考えております。今後とも、学校運営の改善と発展のためにご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【評価基準】

- A：よくあてはまる C：あまりあてはまらない
- B：ややあてはまる D：まったくあてはまらない

1 教育目標について

○ めざす児童像「な・か・よ・し」に係る4つの質問全てにおいて、保護者、児童ともにA・B評価で92%以上となり、充実した学校生活を送っていることが分かる。（やや少ないのは「進んで学習（発表）する」の項目）



2 基礎学力の定着について

○ 4つの質問全てにおいて、保護者、教職員ともにA・B評価で93%以上となり、基礎学力の向上に向けた指導について高い評価を得られた。

○ 児童アンケートでも「先生の授業は、楽しくよく分かる。」

「先生は、分からないところを丁寧に教えてくれる。」の質問に対して、A・B評価で100%となっている。子どもたちにとって、授業は楽しく、やりがいのあるものとなっている。



3 豊かな心の育成、体力の向上について

- 7つの質問の内、5つで保護者、教職員ともにA・B評価が93%以上となり、豊かな心の育成および体力の向上に向けた指導についても高い評価を得られた。
- 保護者アンケート「読書活動の充実」「協調性、忍耐力、社会性の伸長」については、他の質問に比べて評価がやや低く、C評価が10%あった。学校での教育活動全体を通して、成果が見えるような形で取り組んでいく必要がある。
- 児童アンケートの「あいさつ」の質問では、A・B評価が97%となり、子どもたちの意識の高さがうかがえる。西二小の「よさ」としてぜひ継続していきたい。

4 特色ある教育活動について

- 「外部施設の活用」「外部講師の活用」「幅広い教育活動」3つの質問全てにおいて、保護者、教職員ともにA・B評価で93%以上となり、高い評価を得られた。今年度の反省を生かし、さらに魅力ある教育活動を展開できるように工夫・改善を図っていく。
- 児童アンケートの「縦割り班活動に進んで取り組んでいる。」「地域の様子を調べたり、地域の人から学んだりする学習は楽しい。」の質問では、A・B評価で97%以上となっており、西二小ならではの活動に子どもたちも喜びを見いだしている。

5 学校との協力について

- 4つの質問全てにおいて、保護者、教職員ともにA・B評価で87%以上となり、学校との協力体制は、概ね肯定的な評価を得られた。「家庭学習」「担任との意思疎通」などの項目でやや評価が低いので、さらに学校（担任）と保護者が気軽にやりとりし、連携できる環境を整えていく（リーバーの活用）。



- △ 児童アンケートの「家の人に学校であったことをよく話している。」の質問では、A・B評価で84%と昨年度に比べて増えているが、他の質問に比べると低い。一般的に高学年になるとあまり言わなくなる傾向だが、ぜひ学校での出来事も、家庭で話題としてほしい。

6 組織運営について

- 4つの質問全てにおいて、保護者、教職員ともにA・B評価で93%となり、組織運営について高い評価を得られた。緊急時の対応についての不安が7%あったので、緊急時マニュアルの再確認や避難訓練の充実を図っていく。

7 保護者から寄せられたご意見、ご希望より

- ホームページが充実している → 今後も内容を精選しながら継続していきます。
- 西一小との交流が少ない → コロナ禍で途切れてしまった活動も多い。今後は「必要な活動を、より効果的に」という観点で交流活動を復活させていきたい。
- 「学校宿泊体験」など開催できないか → 人員や予算の確保、計画、準備の段階からの継続的な取り組み等を考えると、残念ながら現時点では難しい。
- 学習の様子や学力をこまめに知りたい。→ 学力テストや個別懇談等を通してお知らせしていくが、さらに詳細を知りたい場合には定期以外の個別懇談も可能なので、連絡してほしい。授業参観も基本的にいつでも可能。

- 保護者へのあいさつができていない → 「元気なあいさつと明るい歌声は西二の自慢」を合い言葉に、継続して指導していく。「いつでも、どこでも、だれにでも、同じように、自分から」できるのが、本当によいあいさつであると考えます。
- 児童の個性が出すぎている → 少人数ならではの個性を生かす教育（例えば授業）と、集団での規律を重んじる活動（例えば全校集会）を両立させ、どちらにも同様の価値があることを理解させていく。もし「問題がある」と感じた場合には、すぐに担任に連絡を！
- 給食が足りていない → 給食作成の基準に則って提供しているが、どうしても食べる量には個人差が出てしまいがち。なるべく調整していきます。西二の給食は、おいしいです。
- 日本スポーツ振興センター、PTA安全互助会の効果や実績が不明。
→ 基本的に日本スポーツ振興センターは「学校管理下」、PTA安全互助会は「学校管理下外」で起きた事故やけがについて、医療費を保証します。本校でも今年度、何件か使用実績があります。それぞれ万が一の「保険」として個人に入っているもので、学校単位での支出された金額の公表などは、他校でも行っていないようです。（使用された件数については、もしお問い合わせがあればお知らせできます。）

8 令和6年度に向けて（重点的に取り組んでいきたいこと）

（1）望ましい生活習慣の推進

子どもたちが、夢や目標を実現し、将来自立して生きていくためには、望ましい生活習慣や学習習慣を身に付けることが大切です。

小学生は、特に家庭のライフスタイルに影響されます。特に、近年は低学年でもSNSやゲームにより寝る時刻が遅くなりがちです。寝不足は、午前中の体調不良や朝食の欠食、気分の苛立ちを招くと言われています。子どもたちの将来のために、ぜひ適切な生活習慣についてご家庭でもお考えいただければと思います。

（2）「協同的な学び」のある授業の推進

教授型の授業（教師が手を掛けすぎる授業）から子ども同士で学び合う授業の改善を図り、友だちと学ぶ楽しさや解決する喜びを味わわせながら、確かな学力を身に付けられるようにすることを目指します。（須賀川市全体での取り組み）

（3）家庭学習の充実

学校では授業と家庭学習を繋げる指導を行い、学習内容の定着と家庭学習の習慣が図れるようにします。

本校の家庭学習の時間の目安は、学年×10分間＋10分間です。担任から出された宿題を終え、時間に余裕があるような時には、自主学習に取り組んだり、読書をしたりできるように声掛けをお願いします。また、お子さんの宿題への取組を見ていただき、頑張った過程を称賛してあげてください。

また、毎週水曜日を「家読の日」とし、テレビやゲームの時間の代わりに家庭での読書を推奨していきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

（4）安心・安全な学校づくり

次年度も学校経営の基盤に「地域と共にある学校」を掲げます。時代や学校教育の変化に対応しながら、学校と家庭、地域との連携を図り、「みんなで子どもたちを育てる」という意識を持って、本校の教育目標「自ら学ぶ、豊かな人間性とじょうぶなからだをもった子ども」の実現に向けて取り組んで参ります。ご理解とご協力をお願いいたします。